

# 社会福祉法人愛の泉 定 款

## 第 1 章 総 則

### (目的)

第 1 条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、キリスト教精神を土台とし、多様な福祉サービスが、利用者の意向を尊重して総合的に、また創意工夫されたものとして提供されることにより、利用者が個人の尊厳を保持し、心身ともに健やかに育成されることができるよう、あるいはその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とし、次の社会福祉事業を行う。

#### (1) 第一種社会福祉事業

- (イ) 乳児院の経営
- (ロ) 児童養護施設の経営
- (ハ) 養護老人ホームの経営
- (ニ) 特別養護老人ホームの経営

#### (2) 第二種社会福祉事業

- (イ) 保育所の経営
- (ロ) 老人デイサービス事業の経営
- (ハ) 放課後児童健全育成事業の経営
- (ニ) 児童家庭支援センターの経営
- (ホ) 老人短期入所事業の経営
- (ヘ) 老人居宅介護等事業の経営
- (ト) 地域子育て支援拠点事業の経営
- (チ) 一時預かり事業の経営
- (リ) 子育て短期支援事業の経営
- (ヌ) 小規模住居型児童養育事業の経営
- (ル) 生計困難者に対する相談支援事業の経営
- (フ) 里親支援センターの経営

### (名称)

第 2 条 この法人は、社会福祉法人愛の泉という。

### (経営の原則等)

第 3 条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の子ども・家庭、子育て世帯、地域の独居高齢者等を支援するため、無料または低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

### (事務所の所在地)

第 4 条 この法人の事務所を埼玉県加須市土手 2 丁目 1 5 番 5 7 号に置く。

2 前項のほか、従たる事務所を埼玉県加須市水深 8 6 9 番地 1（愛泉苑）に置く。

## 第 2 章 評議員

(評議員の定数)

第 5 条 この法人に評議員 7 名以上 9 名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第 6 条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事 1 名、職員 2 名以上 3 名以内、外部委員 2 名の合計 5 名以上 6 名以内で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての規程は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。但し、外部委員の 1 名以上が出席し、かつ、外部委員の 1 名以上が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第 7 条 評議員の資格は、社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者とする。

- 2 社会福祉法第 40 条第 4 項及び第 5 項を遵守するとともに、この法人に評議員選任・解任委員会を置き、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか 1 人及びその親族その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第 25 条の 17 第 6 項第 1 号に規定するものをいう。以下同じ）の合計数が、評議員総数の（現在数）の 3 分の 1 を超えて含まれることがあってはならない。

(評議員の任期)

第 8 条 評議員の任期は、選任後 4 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 評議員は、第 5 条に定める定数に足りなくなる時は、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第 9 条 評議員に対して、各年度の総額が 1 人につき 20 万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

- 2 前項の基準を定めるにあつては、民間事業者の役員の報酬等及び従業員の給与、この法人の経理の状況その他の事情を考慮して、不当に高額なものとならないよう、理事及び監事並びに評議員の勤務実態に応じた報酬等の区分及びその額の算定方法並びに支給の方法及び形態に関する事項を定めた報酬等の支給の基準を定めるものとし、公表しなければならない。

## 第 3 章 評議員会

(構成)

第 10 条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第 1 1 条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) 事業計画及び収支予算
- (10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (11) 公益事業・収益事業に関する重要な事項
- (12) 解散及び合併
- (13) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第 1 2 条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後 3 ヶ月以内に 1 回開催するほか、必要がある場合に開催する。

- 2 評議員会の運営は、この定款による他、別に定める社会福祉法人愛の泉評議員会運営規程による。

(招集)

第 1 3 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第 1 4 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の事項及び社会福祉法人愛の泉評議員会運営規程に定めるところによる決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第 1 6 条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

- 4 第 1 項及び第 2 項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

- 第 15 条 評議員会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 議長及び評議員会に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人 2 名がこれに署名押印する。

## 第 4 章 役員及び職員

### (役員の数)

- 第 16 条 この法人には、次の役員を置く。
- (1) 理事 6 名以上 8 名以内とする。
  - (2) 監事 2 名とする。
- 2 理事のうち 1 名を理事長とする。

### (役員を選任)

- 第 17 条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。
- 2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

### (役員資格)

- 第 18 条 理事には次の 3 つの資格要件に該当する者がそれぞれ 1 名以上含まれていなければならない。
- (1) 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
  - (2) 法人が行う事業の区域における福祉に関する実情に通じている者
  - (3) 施設の管理者
- 2 監事には次の 2 つの資格要件に該当する者がそれぞれいなければならない。
- (1) 社会福祉事業について識見を有する者
  - (2) 財務管理について識見を有する者
- 3 社会福祉法第 44 条第 6 項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか 1 人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が理事総数（現在数）の 3 分の 1 を超えて含まれることになってはならない。
- 4 社会福祉法第 44 条第 7 項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

### (理事の職務及び権限)

- 第 19 条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 理事長は、法令及び定款に定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
  - 3 理事長は、毎会計年度に 4 ヶ月を超える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

### (監事の職務及び権限)

- 第 20 条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令及び社会福祉法人愛の泉監事監査規程に定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第 2 1 条 理事又は監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

3 理事又は監事は、第 1 6 条に定める定員に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第 2 2 条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第 2 3 条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 前項の規定に関わらず、業務のために要した費用は、別に定める社会福祉法人愛の泉役員報酬等の規程により支弁することができる。

(取引の制限)

第 2 4 条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにするこの法人との取引

(3) この法人がその理事の債務を保証すること、その他理事以外の者との間におけるこの法人とその理事との利益が相反する取引

2 前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく理事会に報告しなければならない。

3 前 2 項の取扱いについては、別に定める理事会運営規程によるものとする。

(役員賠償責任)

第 2 5 条 理事、監事はその任務を怠ったときは、この法人に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負い、この責任は、総評議員の同意がなければ免除することができない。

(責任の免除)

第 2 6 条 理事又は監事が任務を怠ったことによって生じた損害について、この法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、社会福祉法第 4 5 条の 2 0 第 4 項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 1 1 3 条第 1 項の規定により免除することができる額を限度とし理事会の決議によって免除することができる。

(職員)

第 2 7 条 この法人に職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長以外の職員は、理事長が任免する。

## 第 5 章 理事会

### (構成)

第 28 条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

### (権限)

第 29 条 理事会は、次の職務を行う。但し、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
  - (2) 理事の職務の執行の監督
  - (3) 理事長の選定及び解職
- 2 理事会の運営については別に定める社会福祉法人愛の泉理事会運営規程による。

### (招集)

第 30 条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

### (決議)

第 31 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、以下の事項及び別に定める事項については、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事総数（現在数）の 3 分の 2 以上の同意を受けるものとする。

- (1) 基本財産の処分
- (2) 事業計画及び収支予算
- (3) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (4) 公益事業・収益事業に関する重要な事項

- 3 前 2 項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

### (議事録)

第 32 条 理事会の議事については、法令に定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名押印する。

## 第 6 章 資産及び会計

### (資産の区分)

第 33 条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産、公益事業用財産の 3 種とする。

- 2 基本財産は、別表に掲げる財産をもって構成する。
- 3 その他財産は、基本財産、公益事業用財産以外の財産とする。

- 4 公益事業用財産は、第 4 2 条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。
- 5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第 2 項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第 3 4 条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数（現在数）の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を得て、加須市長の承認を得なければならない。但し、次の各号に掲げる場合には加須市長の承認を必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合。（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第 3 5 条 この法人の資産は、理事会の承認する方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第 3 6 条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数（現在数）の 3 分の 2 以上の同意を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事務所に当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第 3 7 条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
  - (2) 事業報告の附属明細書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
  - (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
  - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第 1 号、第 3 号、第 4 号及び第 6 号の書類については、定時評議員会に提出し、第 1 号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を得なければならない。
  - 3 第 1 項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に 5 年間また、従たる事務所に 3 年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
    - (1) 監査報告
    - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
    - (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
    - (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第 38 条 この法人の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第 39 条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款の定めにあるもののほか、理事会において定める社会福祉法人愛の泉経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第 40 条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

(保有する株式にかかる議決権の行使)

第 41 条 この法人が保有する株式（出資）について、その株式（出資）にかかる議決権を行使する場合は、あらかじめ理事会において、理事総数（現在数）の 3 分の 2 以上の承認を要する。

## 第 7 章 公益を目的とする事業

(種別)

第 42 条 この法人は、社会福祉法第 26 条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 地域包括支援センター

2 前項の事業の運営に関する重要な事項については、理事総数の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

## 第 8 章 解散

(解散)

第 43 条 この法人は、社会福祉法第 46 条第 1 項第 1 号及び第 3 号から第 6 号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第 44 条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

## 第 9 章 定款の変更

(定款の変更)

第 45 条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て加須市長の認可（社会福祉法第 45 条の 3 第 2 項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受



けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を加須市長に届け出なければならない。

## 第 10 章 公告の方法その他

(公告の方法)

第 46 条 この法人の公告は、社会福祉法人愛の泉の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第 47 条 この定款の施行についての細則は、理事会の決議を得て評議員会の承認を得なければならない。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。但し、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	岡 安 寿 々
理 事	岡 安 敏 子
理 事	ゲルトルート. エ. キュックリッヒ
理 事	ピー. エス. メーヤー
理 事	小 崎 道 雄
理 事	明 石 信 道
理 事	中 村 彌 三 次
監 事	藤 崎 五 郎
監 事	長 尾 丁 郎

平成 10 年 (1998 年) 4 月 27 日改定  
平成 10 年 (1998 年) 7 月 31 日改定  
平成 11 年 (1999 年) 2 月 16 日改定  
平成 12 年 (2000 年) 3 月 31 日改定  
平成 13 年 (2001 年) 4 月 2 日改定  
平成 13 年 (2001 年) 5 月 31 日改定  
平成 14 年 (2002 年) 6 月 26 日改定  
平成 14 年 (2002 年) 12 月 24 日改定  
平成 16 年 (2004 年) 6 月 3 日改定  
平成 17 年 (2005 年) 4 月 21 日改定  
平成 17 年 (2005 年) 8 月 9 日改定  
平成 18 年 (2006 年) 2 月 20 日改定  
平成 18 年 (2006 年) 11 月 27 日改定  
平成 19 年 (2007 年) 4 月 26 日改定  
平成 19 年 (2007 年) 7 月 30 日改定

平成 22 年 (2010 年) 6 月 17 日改定  
平成 24 年 (2012 年) 4 月 24 日改定  
平成 25 年 (2013 年) 5 月 10 日改定  
平成 25 年 (2013 年) 6 月 27 日改定  
平成 26 年 (2014 年) 11 月 21 日改定  
平成 29 年 (2016 年) 1 月 26 日改定  
平成 29 年 (2017 年) 4 月 1 日改定  
平成 29 年 (2017 年) 6 月 26 日改定  
平成 31 年 (2019 年) 4 月 15 日改定  
令和 4 年 (2022 年) 9 月 27 日改定  
令和 5 年 (2023 年) 6 月 13 日改定  
令和 6 年 (2024 年) 4 月 1 日改定

別表

## 定款第33条第2項の基本財産

### 1 土 地

埼玉県加須市土手2丁目1344番1所在の事務所敷地  
宅地 (856.19平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1362番6所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (125.61平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1363番所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (1,011.57平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1365番所在の保育所愛泉幼稚園敷地  
宅地 (1,242.97平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目196番所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (742.00平方メートル)

埼玉県加須市水深字新田811番2所在の特別養護老人ホーム  
愛泉苑敷地  
宅地 (1,000.00平方メートル)

埼玉県加須市水深字新田816番1所在の特別養護老人ホーム  
愛泉苑敷地  
雑種地 (209.00平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目195番1所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (290.00平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目195番2所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (25.00平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1364番所在の保育所愛泉幼稚園敷地  
宅地 (667.76平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村897番3所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
宅地 (179.70平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村869番17所在の養護老人ホーム  
あいせんハイム敷地  
宅地 (2,252.45平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村869番18所在の養護老人ホーム  
あいせんハイム敷地  
宅地 (467.42平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村870番12所在の養護老人ホーム  
あいせんハイム敷地  
宅地 (470.97平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1342番5所在の児童養護施設愛泉寮敷地  
宅地 (1,854.82平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村869番5所在の特別養護老人ホーム  
愛泉苑敷地  
宅地 (2,319.00平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村869番7所在の特別養護老人ホーム  
愛泉苑敷地  
宅地 (460.00平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1342番6所在の児童養護施設愛泉寮敷地  
宅地 (200.25平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1342番4所在の乳児院愛泉乳児園敷地  
宅地 (448.83平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1342番7所在の乳児院愛泉乳児園敷地  
宅地 (295.51平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1345番3所在の乳児院愛泉乳児園敷地  
宅地 (6.29平方メートル)

埼玉県加須市不動岡2丁目244番2所在の児童養護施設愛泉寮敷地  
宅地 (262.95平方メートル)

埼玉県加須市不動岡2丁目244番9所在の児童養護施設愛泉寮敷地  
宅地 (151.65平方メートル)

埼玉県加須市不動岡2丁目243番1所在の児童養護施設愛泉寮敷地  
宅地 (137.91平方メートル)

埼玉県加須市不動岡2丁目244番8所在の児童養護施設愛泉寮敷地  
宅地 (11.90平方メートル)

埼玉県加須市不動岡 2 丁目 2 4 4 番 2 6 所在の児童養護施設愛泉寮敷地  
雑種地 (35 平方メートル)

埼玉県加須市土手 2 丁目 1 9 8 番所在の放課後児童健全育成事業  
愛泉学童クラブ敷地  
宅地 (198.00 平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村 8 6 9 番 1 所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
宅地 (3737.42 平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村 8 6 9 番 4 所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
山林 (2435 平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村 8 6 9 番 2 所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
宅地 (5590.00 平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村 8 6 9 番 1 6 所在の養護老人ホームあいせんハイム敷地  
雑種地 (727 平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村 8 7 0 番 5 所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
公衆用道路 (494 平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村 8 7 0 番 1 所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
雑種地 (958 平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村 8 7 0 番 1 3 所在の養護老人ホームあいせんハイム敷地  
雑種地 (113 平方メートル)

埼玉県加須市土手 2 丁目 1 3 6 2 番 5 所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (204.99 平方メートル)

埼玉県加須市土手 2 丁目 1 3 4 5 番 1 所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (839.64 平方メートル)

埼玉県加須市水深字新田 8 6 3 番 1 所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
田 (189 平方メートル)

埼玉県加須市土手 2 丁目 1 3 4 6 番 1 所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (371.86 平方メートル)

埼玉県加須市土手 2 丁目 1 3 4 6 番 6 所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
宅地 (14.93 平方メートル)

埼玉県加須市土手 2 丁目 1 9 7 番 2 所在の社会福祉法人愛の泉敷地  
畑 (476.00 平方メートル)

埼玉県加須市土手 2 丁目 1 9 2 番所在の児童養護施設愛泉寮敷地  
宅地 (315.00 平方メートル)

埼玉県加須市水深字新田 8 1 1 番 1 所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
雑種地 (367.00 平方メートル)

埼玉県加須市水深字新田 8 1 0 番 2 所在の特別養護老人ホーム愛泉苑敷地  
雑種地 (14.00 平方メートル)

## 2 建 物

埼玉県加須市土手2丁目1364番地、1360番地1、1361番地1  
及び1365番地所在の鉄筋コンクリート造陸屋根・合金メッキ鋼板ぶき2階建  
保育所愛泉幼稚園園舎1棟

(1階 578.18平方メートル)  
(2階 439.86平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1365番地所在の  
鉄筋コンクリート造瓦葺平屋建保育所愛泉幼稚園園舎(乳児棟)1棟

( 95.90平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1344番地1所在の  
鉄骨造瓦葺平屋建事務所1棟

( 236.46平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1345番地所在の  
鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付3階建  
放課後児童健全育成事業愛泉学童クラブ・乳児院愛泉乳児園小規模施設・寄宿舍1棟

(1階 385.97平方メートル)  
(2階 345.20平方メートル)  
(3階 336.42平方メートル)  
(地下1階 31.32平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村869番地2、869番地5及び869番地7  
所在の鉄筋コンクリート造石綿セメント板葺陸屋根平屋建  
特別養護老人ホーム愛泉苑園舎

( 2,523.64平方メートル)

鉄筋コンクリート造石綿セメント板葺平屋建特別養護老人ホーム  
愛泉苑倉庫及び居宅

( 105.00平方メートル)

鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建特別養護老人ホーム愛泉苑機械室1棟

( 45.04平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村869番地2所在の鉄筋コンクリート造  
石綿セメント板葺平屋建特別養護老人ホーム愛泉苑寄宿舍

( 162.00平方メートル)

埼玉県加須市水深字新田811番地2所在の鉄筋コンクリート造  
銅板葺平屋建老人デイサービスセンター愛の泉デイサービスセンター園舎1棟

( 364.95平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1344番地1・195番地1所在の  
鉄骨造瓦葺2階建地域子育て支援センター愛の泉ふれあいホーム1棟  
(1階 216.79平方メートル)  
(2階 208.95平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村869番地17、869番地18所在の  
鉄筋コンクリート造鋼板葺陸屋根3階建養護老人ホームあいせんハイム1棟  
(1階 1,229.20平方メートル)  
(2階 851.43平方メートル)  
(3階 877.67平方メートル)

コンクリートブロック造陸屋根平屋建養護老人ホームあいせんハイム機械室1棟  
( 27.50平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1360番地1、1361番地1所在の  
鉄筋コンクリート造鋼板葺2階建礼拝堂  
( 149.39平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1342番地5・1342番地4・1342番地7  
所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建  
乳児院愛泉乳児園園舎兼寄宿舍1棟  
(1階 764.20平方メートル)  
(2階 602.85平方メートル)  
(3階 185.07平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目1342番地5、1342番地4、1342番地7  
所在の鉄筋コンクリート造合金メッキ鋼板ぶき陸屋根4階建  
児童養護施設愛泉寮園舎1棟  
(1階 587.81平方メートル)  
(2階 432.18平方メートル)  
(3階 428.09平方メートル)  
(4階 428.09平方メートル)

埼玉県加須市土手2丁目198番地所在の木造かわらぶき2階建  
放課後児童健全育成事業愛泉学童クラブ園舎1棟  
(1階 95.57平方メートル)  
(2階 45.54平方メートル)

埼玉県加須市水深字本村869番1、869番2、869番4、869番5、869番7、  
869番16、897番3、字新田863番1所在の鉄筋コンクリート造陸屋根4階建特別  
養護老人ホーム1棟  
(1階 1314.00平方メートル)  
(2階 1232.16平方メートル)  
(3階 1232.16平方メートル)



(4階

1232.16平方メートル)